



## 健康と温泉フォーラム 第38回月例研究会のご案内

- 主催 NPO法人健康と温泉フォーラム 地域活性学会
- 日時 2013年5月24日(金) 13:30~16:30 (受付13:00から)
- 会場 上野・東京文化会館4F 中会議室2  
東京都台東区上野公園5-45 TEL 03-3828-2111 JR上野駅公園口出て正面すぐです。
- テーマ 「ホメオパシーと温泉」
- 講師 ミハエラ・シェルブレア (医学博士 自然治癒・生命倫理)

1993年国費留学生(文部省)として来日。名古屋大学医学部第三内科大学院博士課程入学。分子病態(ガンの転移メカニズム)の研究を行う。1999年博士号取得。その後、WHO健康開発総合研究センター(神戸)、笹川平和財団(東京)、国連大学高等研究所(横浜)にて、研究・調査に携わる。語学に堪能(日本語・英語・独語・仏語・ルーマニア語)。2005年結婚、一児の母。幼い頃から母親が薬の副作用で苦しむ姿を見て、副作用の無い治療を行う医師になろうと決心、ホメオパスを目指す。本国で専門的トレーニングを受けた後、オーストリアで集中研修。多くの優れたホメオパスの元で研鑽を積む。伝統医療、生命倫理、自然療法の研究を続けている。

湾岸戦争が起こった91年ごろ、米軍の新聞「スターズ&ストライプス」から取材を受けたとき、日本に駐留する兵士のあいだで、温泉が人気があり、フォーラムの温泉療養相談を英語でできないかと言った相談を受けたことがあった。いまでも在日外国人の中には日本の温泉ファンが多い。そして日本の温泉のことにととても詳しく、秘湯ブームの先駆者とも言われている。混浴、共同浴場はお手の物、日本の湯治文化を限りなく愛している人たちだ。理由を聞くと、料金が安く、自然が豊かで、ローカルな人達と触れあうことができ、心身のリラクセスに効果があると言うことらしい。最近、日本の温泉と湯治文化に専門的に取り組んでいる研究者も現れてきた。今回の講師ミハエラ・シェルブレア博士はそういった研究者の一人で、専門であるホメオパシーの考え方で日本の温泉を高く評価している論文「ONSEN & SPACE」を海外雑誌に発表されたりしている(2012年)。今回、ミハエラ・シェルブレア博士には海外から見た日本の温泉・湯治文化と専門であるホメオパシー理論がどのように交差してくるのかをお聞きしてみたいと思っています。(合田)



- プログラム
  - 1300 受付
  - 1330 コーディネーター・背景説明
  - 1340 講演  
「ホメオパシーと温泉」  
ミハエラ・シェルブレア (医学博士 自然治癒・生命倫理)
  - 1500 休憩
  - 1515 ディスカッション
  - 1630 終了
- 参加費 健康と温泉フォーラム・日本スパ振興協会・地域活性学会会員  
2000円

一般の方

3000円

報道関係者・学生  
無料

(当日会場受付で承ります)

- お申し込み・お問い合わせ  
NPO法人健康と温泉フォーラム事務局までE-mail またはFAX  
にてお申し込み下さい。定員先着順40名とさせていただきます。お早め  
にお申し込みください。

**E-mail TEL&FAX 03-6804-8575**

**NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛**

参加申込書 第38回月例会(2013年5月24日(金))に出席します。

● お名前  
(複数可)

● 団体名

● 住所

● TEL

● FAX

● E-mail